

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年・学科	2学年全学科
教科書	大修館「現代高等保健体育」		副教材	大修館「現代高等保健体育ノート」			

学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養います。
学習方法	○2クラスまたは1クラスの共修となります。 ○指定の教科書とノートを使用し学習します。 ○ICTを活用したパワーポイントによる学習や映像視聴で学習します。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			前期中間	前期末	後期中間		
a	知識・技能 (専門教科は知識・技術)	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	知識・技能(技術)	40%	0%	100%	
			思考・判断・表現	30%	0%	30%	
			主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	
	b	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身につけている。	知識・技能(技術)	40%	60%	40%
				思考・判断・表現	30%	15%	15%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%
c	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身につけている。	知識・技能(技術)	40%	0%	100%	
			思考・判断・表現	30%	0%	30%	
			主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	○生涯を通じる健康 1 ライフステージと課題 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工避妊中絶 6 結婚生活と健康	・思春期の体と心の健康について学びます。	○	○	○	c: 思春期の性的成熟にともなう心理面、行動面の変化に対応して、他者を尊重する態度が必要であることを理解できる。 b: 性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できる。 a: 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、社会的政策について学ぼうとしている。 c: 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について理解できる。	・行動観察 ・保健ノート
		・性意識の変化と異性の尊重や、性に関する情報と性行動について学びます。					
		・受精、妊娠、出産について学び、妊娠、出産期の健康のために必要なことも学びます。					
		・家族計画の意義と避妊法、人工妊娠中絶について学びます。					
		・心身の発達と結婚生活、結婚生活と家族の健康について学びます。					
		・加齢にともなう心身の変化や、中高年期を健やかに過ごすために必要なことを学びます。					
前期末	7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	・労働災害とその防止や、安全管理と健康管理のしくみについて学びます。	○	○	○	c: 加齢に伴う心身の変化について心身の発達や健康状態など保健の立場から理解できる。 c: 労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できる。	・行動観察 ・保健ノート ・単元テスト ・定期考査
		・健康を支える環境づくり 11 大気汚染と健康					
		・水質汚濁、土壌汚染、大気汚染の影響とかかわりについて学びます。					
		・環境汚染の防止とその対策について学びます。					
後期中間	12 水質汚濁・土壌汚染と健康 13 環境と健康にかかわる対策 14 ごみの処理と上下水道の整備	・産業廃棄物の処理と健康についてや、上下水道の整備とし尿の処理について学びます。	○	○	○	b: 産業活動に伴う大気汚染は人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらすことを理解できる。 c: 健康への影響や被害を防止するには、汚染物質発生を抑制・処理することが必要なことを理解できる。 a: 環境問題の現状、問題点、対策などを積極的に学ぼうとしている。 c: 廃棄物処理は、環境と健康を守るために行われていることを理解し、その現状、問題点、対策を総合的に関連付けて理解できる。	・行動観察 ・保健ノート
		・食品の安全性と、行政や製造・加工者による衛生管理について学びます。					
		・保健行政の役割と健康づくり、保健・医療サービスの活用について学びます。					
後期末	15 食品の安全性 16 食品衛生にかかわる活動 17 保健サービスとその活用 18 医療サービスとその活用 19 医薬品の制度とその利用 20 健康に関する環境づくりと社会参加	・医薬品の種類と使い方、安全性対策について学びます。	○	○	○	c: 食品の安全性の確保は、食品衛生法などに基き、適切な管理が重要であることを理解できる。 a: 行政及びその他の機関などから保健・医療サービスについて積極的に学ぼうとしている。 c: 医薬品には、承認制度により有効性や安全性が審査されており、その販売規制を理解できる。 c: 働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを理解できる。	・行動観察 ・保健ノート ・単元テスト ・実技テスト ・定期考査
		・職場と日常生活における取り組みについて学びます。					
		・職場と日常生活における取り組みについて学びます。					
		・職場と日常生活における取り組みについて学びます。					